

平山郁夫
没後10周年記念展

前編

群青

Hirayama Ikuo: A Retrospective

世界



平山郁夫 《西域の馬》 1978年 鎌倉・高德院蔵

2019 3/9 sat — 9/10 tue

休館日=会期中無休 開館時間=10:00-17:00 (入館は16:30まで)

入館料=一般1200円/高大生800円/小中学生 無料

*障がい者手帳をお持ちの方無料、介護者の方1名まで600円 *70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引

主催=公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

後援=山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会、朝日新聞甲府総局、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局、信濃毎日新聞社、八ヶ岳ジャーナル、テレビ山梨、エフエム富士、エフエム八ヶ岳

平山郁夫シルクロード美術館
HIRAYAMA IKUO SILK ROAD MUSEUM

入館料100円引き
本チラシを受付で提示ください。
期間中、本チラシ一枚につき
1名様まで有効。



日本画家、平山郁夫が2009年12月に逝去し、早くも10年の歳月が経とうとしています。

平山郁夫は、日本文化の源流を求め、仏教伝来の道でもあるシルクロードをくまなく旅し、平和をテーマとした数々の名作を残した戦後の日本画壇を代表する画家です。

また画業のかたわら、敦煌やアンコールワット、バーミヤンなど危機に瀕した世界各地の文化財保護活動にも尽力し、ユネスコ親善大使などを歴任、79歳の生涯を駆け抜けました。

2019年3月から、平山郁夫シルクロード美術館では、没後10年の節目にあわせ、その画業を振り返り、これまで展示していなかった秘藏品や、月刊誌の表紙絵、制作資料などを織り交ぜながら、平山郁夫のいまだ知られざる絵画世界をご紹介します。

世界群青の

前編 平山郁夫没後10周年記念展

Hiramasa Ikuo: A Retrospective

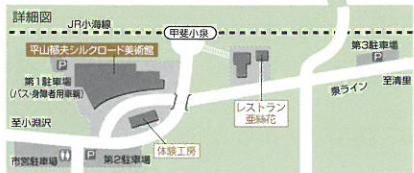


4

1. 平山郁夫 《海、睡道》 1970-80年頃
2. 平山郁夫 《海、鳥と花》 1970-80年頃
3. 平山郁夫 《仏教伝来小下図》 1959年
4. 1970年代の平山郁夫



2階大展示室 大シルクロードシリーズ



2



3

「群青の世界」展 学芸員によるみどころ解説

日時：4月20日④、5月18日④、8月17日④ 14:00～

平山郁夫没後10周年記念講演会

対談 平山郁夫を偲ぶ

宮廻正明 [日本画家、平山郁夫シルクロード美術館副理事長]

× 平山美知子 [平山郁夫シルクロード美術館館長]

没後10年を記念して、平山郁夫に師事した日本画家宮廻正明氏をお迎えし、当館の館長平山美知子との対談イベントを開催します。

平山郁夫の絵画の魅力や、とっておきのエピソードなどお話しいただきます。

日時：2019年6月15日④ 14:00～ 会場：美術館 展示室6

※参加費・申し込み不要、聴講無料(入館券が必要です)



ワークショップ

トルコ料理でシルクロードを学ぼう

講師：藁谷和紀(レストラン垂絲花)

日時：2019年3月30日④ 14:30～16:30

集合場所：レストラン垂絲花(美術館隣り)

参加費：2500円 ※体験の方は美術館入館無料

申込方法：電話による事前予約(先着順)

申込先：0551-32-0225 (平山郁夫シルクロード美術館)

定員：6名 持ち物：エプロン

メニュー：ケバブ、フムス、ジャジュック(ヨーグルトのスープ) など



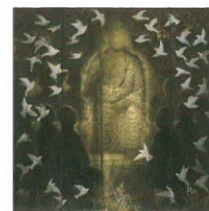
写真はイメージです

次回展のご案内

平山郁夫没後10周年記念展 [後編]

「悠久の旅路」

2019年9月14日④～12月27日④



平山郁夫
《出現》
1962年
佐久市立近代
美術館蔵



公益財団法人

平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6
Tel. 0551-32-0225

www.silkroad-museum.jp

f https://www.facebook.com/silkroadmuseum

t https://twitter.com/silkroad_museum

電車：新宿駅(JR中央本線特急・約2時間)⇒小淵沢駅(JR小海線・7分)⇒甲斐小泉駅

自動車：小淵沢ICより約10分。八ヶ岳高原ライン小荒間交差点を右折後、踏切を越えてすぐ左折後300m